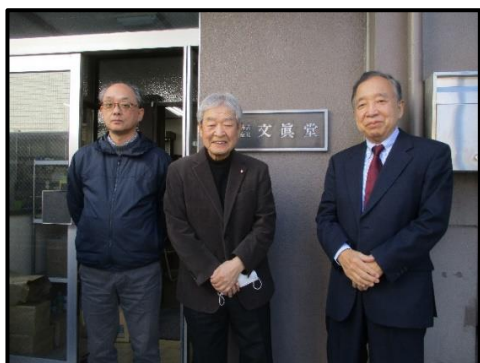


2025 年度学術活動



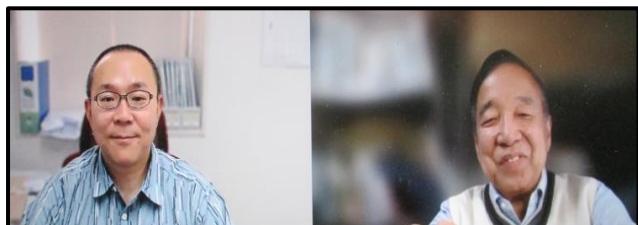
2月26日 文真堂前野社長と前野常務と
次期出版図書で打ち合わせ(7月脱稿予定)



4月6日 田中雅康先生の卒寿祝いに参加
90歳の誕生日当日に帝国ホテルにて(お元気)

2冊の図書執筆中

仮題名『創造力強化経営』と『過去15年間の気づき』



4月18日 久留米大学川路崇博先生と経営学全般
(含む大学生の教育の在り方など)



4月7日 次世代センサ協議会前理事事務局長
高田敬輔氏と企業経営について



8月30日筆者, 石丸裕司氏, 青野洋己氏
(国家資格技術士仲間) AI活用など



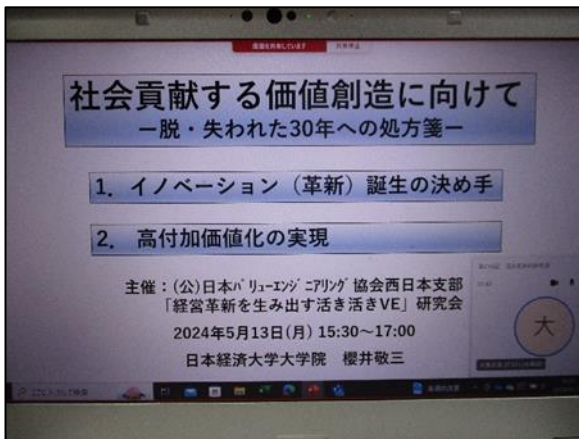
10月10日第58回VE全国大会に参加した。企業や個人の
表彰と表彰企業の活動報告と講演などをリアルで実施。
それとは別に企業での活動事例発表や論文発表は
オンデマンドで1か月間自由に聴講できる。

2024 年度学術活動



筆者（櫻井） 田中雅康先生（東京理科大学名誉教授） 野口武幸氏（ISO 審査官）

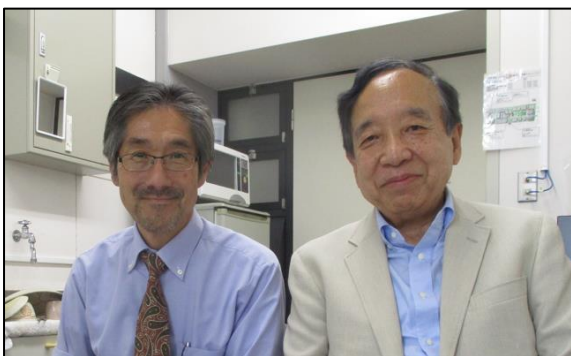
5 月 7 日 池袋にて、経営研究会の元メンバーと再会（5 時間強、情報交換をしました。有意義だった。）



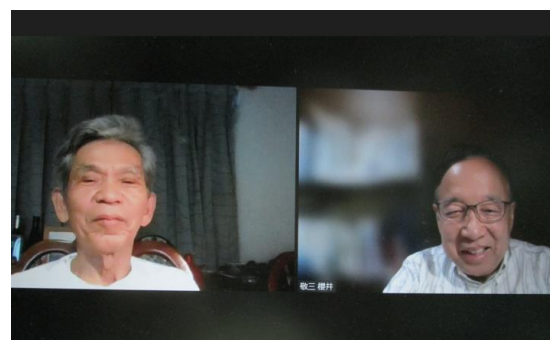
5 月 13 日 日本VE 協会西日本支部
生き活き VE 研究会（HP に講演ビデオ有）
「社会貢献する価値創造に向けて」



5 月 20 日 富山藩 前田公の廟所曹洞宗真国寺
第十九代永田円了ご住職様とお話できた。
（文明・文化、価値観（慈悲と嫉捨山の話など））



5 月 23 日 早稲田大学理工学術院
三原康司教授の研究室にて研究昔話をした。
「二人とも企業人から大学教員へ変身」



6 月 10 日 Zoom オンラインで会合
『ひとつなぎの会』代表者 小粥幹夫氏と話す。
日本の今後の教育の在り方を中心に意見交換



6月13日 学士会館の喫茶室にて
1983年家庭用アイスクリーム製造機ドン冷え
を發明した上坂且氏と創造性開発で意見交換



①地域活性化や技術開発に
今なお取り組む仲間と(8/24)



②7つの共通項を持つ
友人たちと(8/26)

[30 有余年前, 企業時代の有識者との Zoom 会合]



指導機関: DOIT 經濟部産業技術司 | 主催機関: 台日科学技術交流委員会 | 執行機関: 財団法人中華經濟研究院

9月19・20日開催の『2024年
台日科学技術フォーラム』にオ
ンラインで参加(過去4回参加)



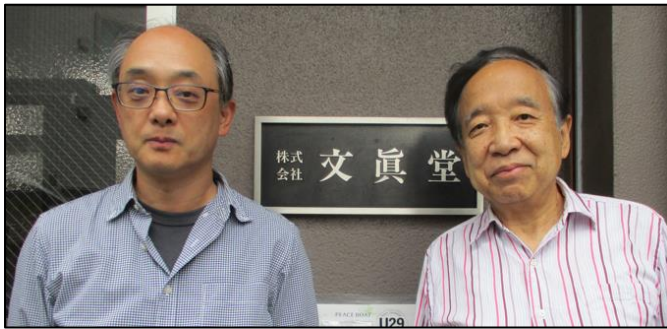
10月12日 専修大学附属高等学校にて
杉山比呂之先生 筆者(櫻井)
総合探索型WS(60名12チーム)で自ら課題を
見つけ、自ら解決する活動を見学。7年前、本学で
高・大・社会人の混成チームで『部活』をテー
マにWS実施経験あり。継続実施が素晴らしい。



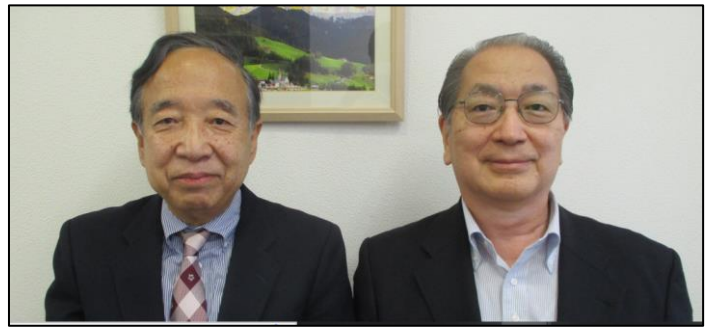
10月14日 日本経済大学大学院にて
筆者講演(HPに講演ビデオ有)
『顧客満足』の提供が大切
-MOTを加えたら、より良くなるはずです-



豊橋技術科学大学 藤井享教授 筆者(櫻井) 日本コンパティティブ・インテリジェンス学会事務長 真崎貴氏
10月14日 渋谷にて、2023年10月発刊した図書の共著者と再会
(2時間強、情報交換をしました。有意義だった。)



単著 3 冊, 共著 2 冊を発刊した文真堂正面玄関にて
10 月 18 日 前野弘太常務と私 (早稲田大学大隈講堂前)
R & D 本増版について話す (5 年前発刊図書が完売)



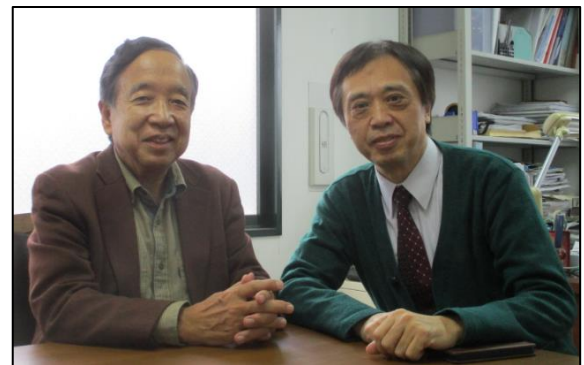
11 月 8 日 (公) 日本 V E 協会打ち合わせ室にて
私と宮本彰夫日本 V E 協会理事・事務局長
V E 活動変遷や今後について意見交換した



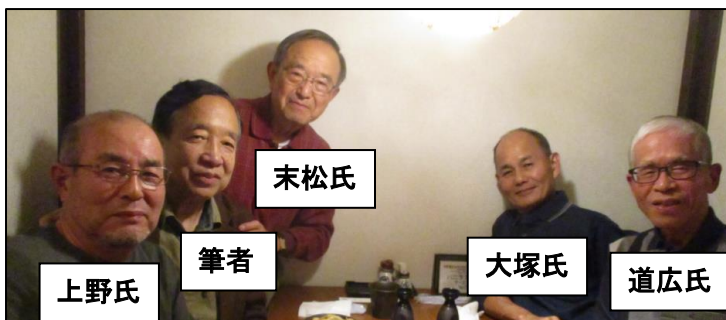
11 月 9 日 銀座にて、経営研究会の元メンバーと再会 (3 時間弱、情報交換をしました。有意義だった。)
半世紀前からの研究会でその主力メンバーが勢ぞろい (平均年齢 80 歳)。企業時代から今日までの各人話有。



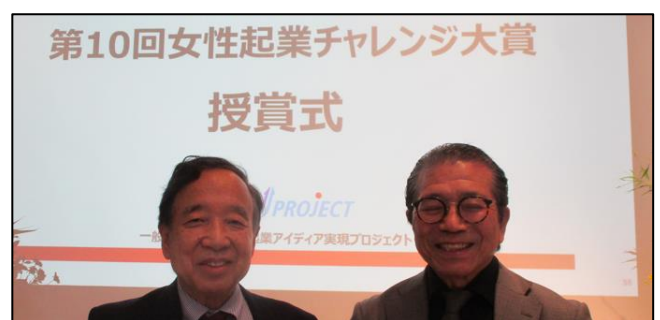
11 月 15 日 DIC (株) 本社にて有賀利郎氏
(常務執行役員) と R & D の話をし有意義だった。



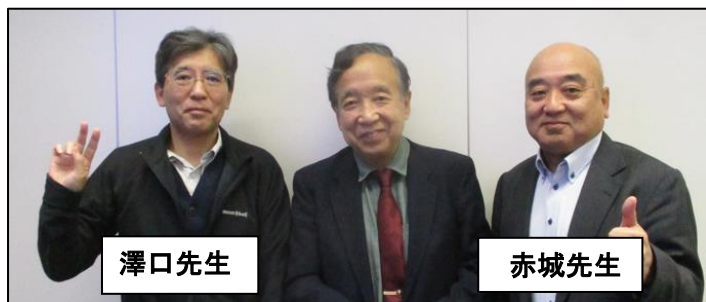
11 月 16 日 日本経済大学大学院にて学科長の
高橋文行先生と教育全般について話す。



11 月 16 日 渋谷にてブレイクスルー V E 創始メンバーと
久々にリアル会合をした。30 余年前日本企業のために頑張った。



11 月 17 日 写真の授賞式があり筆者参加
本大賞組織代表理事長の高橋誠氏と筆者



11月23日早大理工キャンパスにて。立命館大学の先生方と共同研究企業の方のご発表を聴く。両先生と写真。テーマ『設計知識の伝承メソッド』勉強になった。



12月8日 半年ぶりに再会。富山県の曹洞宗真国寺の永田円了ご住職様とお話できた。(日本の経営, 米国大学学部内容, 寺での講和など)

2023 年度学術活動



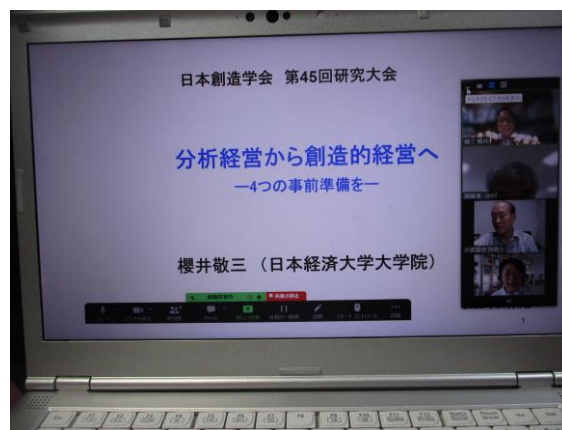
9月9日 日本システムデザイン学会
第4回研究大会で発表(早稲田大学西早稲田)
「企業ビジョンと社長方針の明確化」



9月9日 日本システムデザイン学会
第4回研究大会で司会(早稲田大学西早稲田)
第1セッションの司会



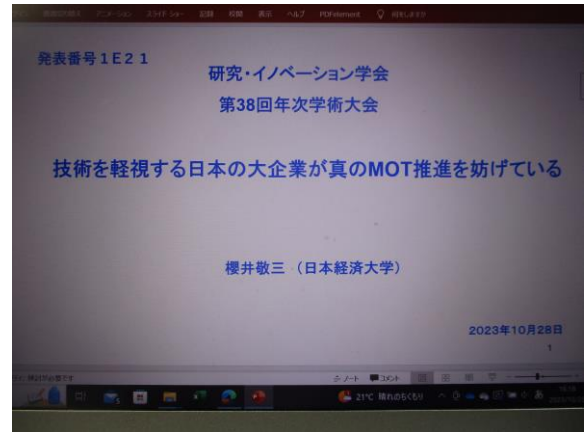
9月5日 学士会館 喫茶室にて
台湾 東海大學工業工程與經營資訊學系教授
劉仁傑先生と共同研究分野について討議



10月1日 日本創造学会 第45回研究大会
産業能率大学 オンラインで発表
「分析経営から創造的経営へ-4つの事前準備を-



10月8日 日本マネジメント学会
第88回全国研究大会駒沢大学 種月館(3号館)
B会場コメンテータ



10月28日 研究・イノベーション学会
第38回年次学術大会 オンラインで発表
E会場にて 「技術を軽視する
日本の大企業が真のMOT 推進を妨げている」



3月2日 等価変換創造学会東京例会(HPに講演ビデオ有)
ランドワーク新宿ビル8Fにて講演

Part 1: 脱・失われた30年への処方箋
14:00~16:30 (発表1.5時間, 質疑45分)

Part 2: 我が人生を振り返って
16:30~17:00 (発表30分)

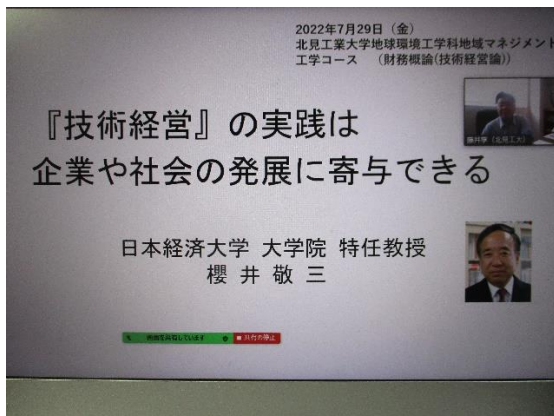
日本経済大学大学院 櫻井敬三
2024年3月2日(土)
ランドワーク新宿ビル8F
等価変換創造学会 東京例会



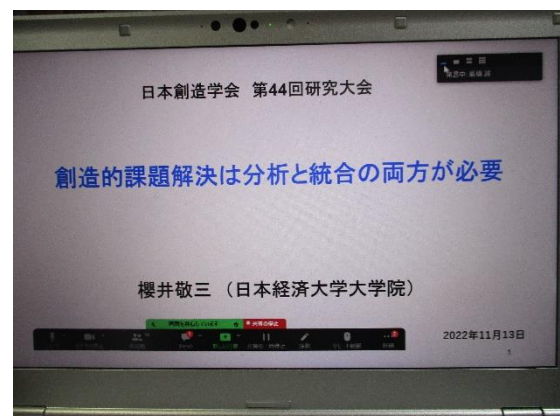
0 / 3 3

ハイブリッド開催
Part1 Part2

2022 年度学術活動

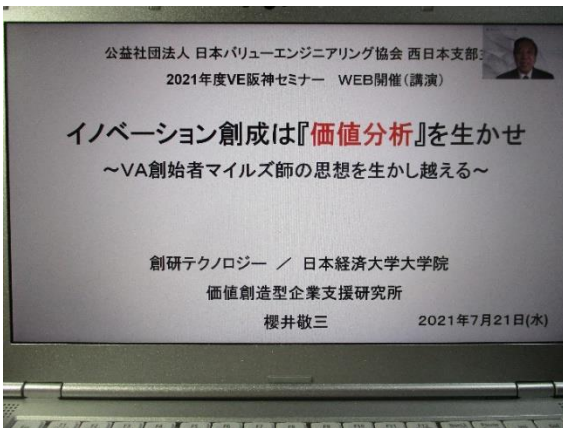


7月29日 北見工業大学地球環境工学科で講義
「『技術経営』の実践は企業や社会の発展に寄与
できる」(オンライン開催)

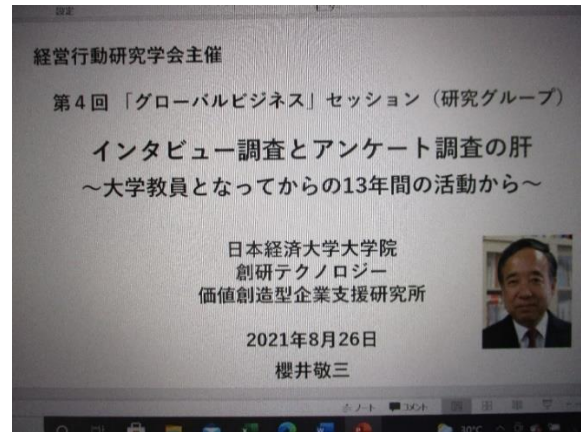


11月13日 第44回日本創造学会研究大会で発表
「創造的課題解決は分析と統合の両方が必要」
(ハイブリット開催、AMセッション司会も)

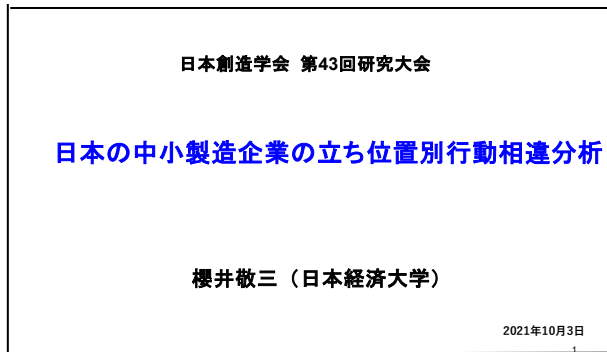
2021 年度学術活動



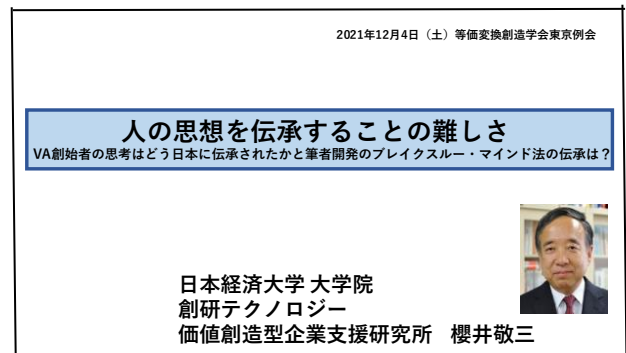
7月21日 (財)日本VE協会西日本支部主催で講演
「イノベーション創成は『価値分析』を生かせ」
(オンライン開催) (61名参加)



8月26日 経営行動学会研究会で発表
「インタビュー調査とアンケート調査の肝」
(オンライン開催)

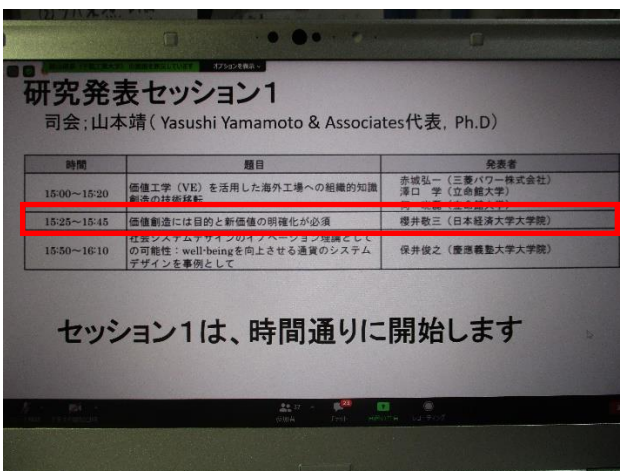


10月3日 第43回日本創造学会研究大会で発表
「日本の中小製造企業の立ち位置別行動相違分析」
(オンライン開催)

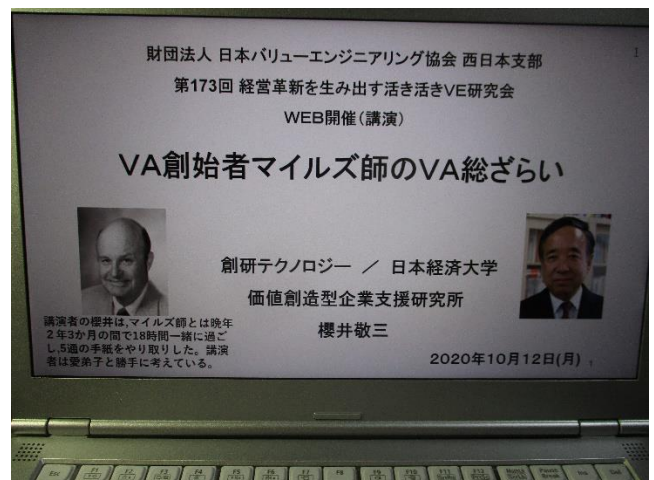


12月4日 等価変換創造学会東京例会で発表
「人の思想を伝承することの難しさ」
(オンライン開催)

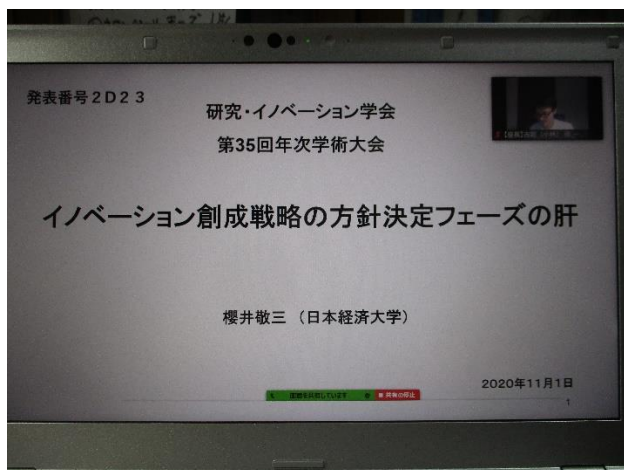
2020 年度学術活動



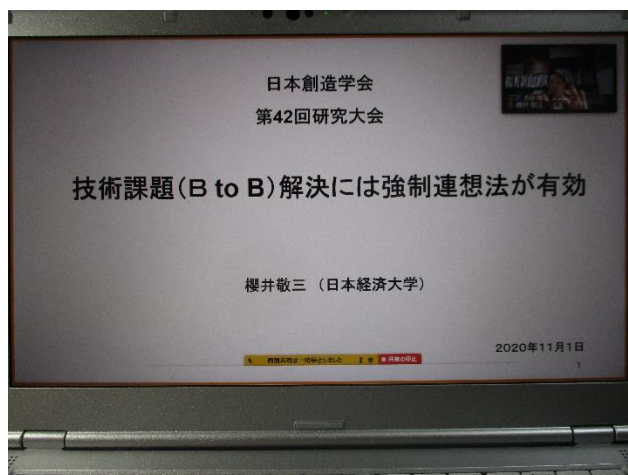
9月13日 日本システムデザイン学会で発表
第1回研究大会早稲田大学 (オンライン開催)
「価値創造には目的と新価値の明確化が必須」



10月12日 (財)日本VE協会西日本支部主催で講演
第173回活き活きVE研究会にて (オンライン開催)
「VA創始者マイルズ師のVA総ざらい」 (40名参加)



11月1日 研究・イノベーション学会で発表
第35回年次学術大会（オンライン開催）
「イノベーション創成戦略の方針決定フェーズの肝」



11月1日 日本創造学会（主催産業能率大学）で発表
第42回研究大会（オンライン開催）
「技術課題（B to B）解決には強制連想法が有効」



11月1日 研究・イノベーション学会で発表
第35回年次学術大会（オンライン開催）
（泰日工科大の先生が発表中の筆者を撮影し送ってくれた）



3月2日 公益社団法人 日本VE協会 東日本支部
2020年度活動報告会WEB開催（講演）178名参加
「VA創始者マイルズ師の思想を生かし越える」

2019 年度学術活動



8月9日 経営行動研究行動学会 全国大会にて
コメンテータをしました。（和光大学）



8月9日 経営行動研究学会 全国大会懇親会にて
菊池前会長との談笑 （和光大学）



9月14日 等価変換創造学会 ET 東京例会にて
『イノベーションと研究開発マネジメント』で講演

出席発表予定でしたが
海外研究調査と日程がかぶり
急遽、PP+ボイスレコーダに
よる発表となりました。
学会員には迷惑をかけました。
従って写真はございません。



9月23日 KYB（株）岐阜工場生産技術研究所
にて『VA 創始者マイルズ師から学んだこと』で講演



10月25日 早稲田大学創造理工学研究科『生産財
メーカーにおける製品・サービス企画について』で講義



10月27日 研究・イノベーション学会
（政策研究大学院大学）にて発表
「価値分析の創始者マイルズ思想の正しい解釈」



11月7日 ソフトサイエンス研究会
（日本経済大学大学院 246 ホールにて）で意見交換
上海市科学学研究所より本学へ来学



11月23日 KICSS 2019（ホーチミン）にて発表
A Study on Innovation Creation by Value Analysis



1月15日タイ国 TNI 大学（バンコク市）にて講演
① 工学部教員らと記念撮影



1月15日タイ国 TNI 大学（バンコク市）にて講演
②演題：Engineer need to do the Value Analysis.



1月15日タイ国 TNI 大学（バンコク市）にて講演
③ 学生 160 名＋大学教員 10 数名が参加



1月15日タイ国 TNI 大学（バンコク市）にて
学長 Dr. Bandhit 先生に著作図書 3 冊を寄贈

新型コロナウイルスの世界的感染拡大で当初計画していた EU（スウェーデン）の調査研究（2/23～2/29）を中止した。

なお、国内では 2/20 以降の会合の中止や不参加で 3/17 現在 5 件の研究会合の参加ができなかった。その渦中で下記 3/18 は举行された。講演者であるため感染者にならぬように細心の注意を払った。3/18 の講演は筆者も参加者も全員がマスクを着用した異例の対応であった。



3月18日アイビーホール（青学会館）にて講演 演題 イノベーション実現のための価値分析のすすめ
第3回経営者フォーラム（日本VE協会主催）
-創始者マイルズ師の思想を生かし越える-
新型コロナウイルス拡散中のため皆マスク（19名参加）

2018 年度学術活動



9月11日 日本創造学会（大阪国際交流センター）発表
「日本の特徴ある技術力を有する中小製造企業の特性」

10月28日 研究・イノベーション学会（東京大学）発表
「イノベーション創成の研究開発マネジメント」 「ハノイ・ハイフ
オン地域の工業団地と日本・ベトナム中小製造企業比較」

2017 年度学術活動



4月17日 研究・イノベーション学会 国際問題
分科会（東工大蔵前会館）にて講演をしました。
「ファジー フロント エンド活動による技術革新創成」

5月27日 日本マネジメント学会 関東部会
（立正大学 品川キャンパス）にて発表しました。
「真の価値創造は企画立案から始まる」



6月3日 日本経営診断学会 関東支部研究報告会
(法政大学市ヶ谷キャンパス) にて発表しました。
「技術革新を生み出す価値創造のマネジメント」



7月1日 日本経営工学会 日本再生化とMOT研究会
(工学院大学 新宿キャンパス) にて講演しました。
「創造性開発を軽視した研究開発マネジメントが問題だ」



7月10日 日本VE協会西日本支部
(TACMINA多目的ホール) にて講演しました。
「IoTとAI時代を生き抜くための創造的課題解決活動」



7月28日 静岡県VEシンポジウム(静岡県男女
参画センター6F大ホール) にて講演しました。
基調講演「未来社会における課題解決と人づくり」



8月25日 Work Shift Day 2017
(日本経済大学246ホール) にて講演しました。
「技術革新実現の企画・研究・開発活動の見える化」



9月5日 経営行動研究学会 全国大会にて
コメンテータをしました。(創価大学)



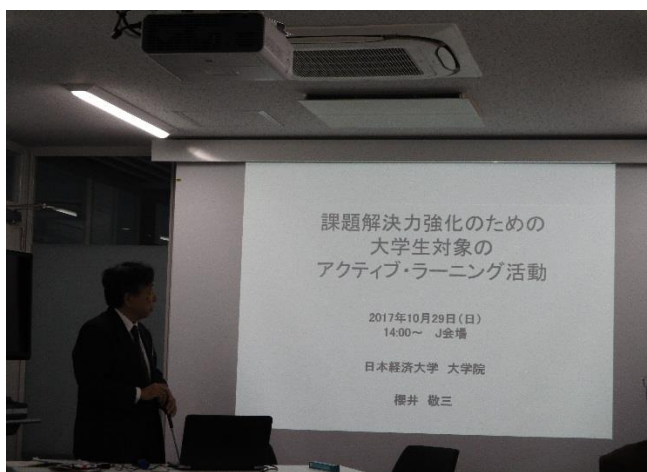
9月5日 インフラ国民会議革新的技術フォーラム（国交省主催）（横浜富士ゼロックスお客様共創ラボ）にて、閉会時、コメントをしました。

9月9日 日本創造学会 全国大会にて発表しました。（慶応義塾大学 日吉キャンパス）
「円滑なグループ活動をするための導入研修」



今回は、4テーマ（中小企業、IoT&AI、企画力、教育）を円卓フリーディスカッション形式で実施しました。

9月30日 第5回 価値創造型企業支援研究所 定例年次報告会（本学246ホール）



10月25日 アルカディア市ヶ谷で特別報告しました。
SAVE International & SJVE Conference 2017
「アクティブラーニングへのVE適用」

10月29日 研究イノベーション学会学術大会で発表
京都大学（吉田キャンパス）
「課題解決力強化のための大学生対象のAL活動」



10月28日① 活動意義と進め方レクチャー (筆者)



10月28日② Cチームの発表(全部で9チームあり)



10月28日③ 総勢64名で記念撮影(高28名、大24名、社12名)



混成即席チームであり、アイスブレイクとして「マシュマロ・チャレンジ」を実施した。優勝チームは二十三センチメートルであった。(左写真が優勝チーム)

10月28日④ アイスブレイク

社会人は経営者、音楽家、コンサルタント、他校教員(高校・大学)、サラリーマン・サラリーウーマンでした。年齢差は50才以上でした。その年齢ギャップは最初のマシュマロ・チャレンジで解消されました。

10月28日 専修大学附属高等学校(和泉キャンパス)小ホールにて『アクティブラーニングによる「高校生+大学生+社会人」合同ワークショップ活動』を実施。テーマ:「部活をより楽しい活動にするために」総合プロデュース・当日総合司会を櫻井所長が行いました。(上記の①~④参照)

2016 年度学術活動



7月2日 等価変換創造学会 東京支部研究会にて講演を行いました。(新宿 S2 ビル)



8月20日 経営行動研究学会 全国大会にてコメンテーターをしました。(明治大学)



科研費研究の報告(中小製造企業の国際戦略)

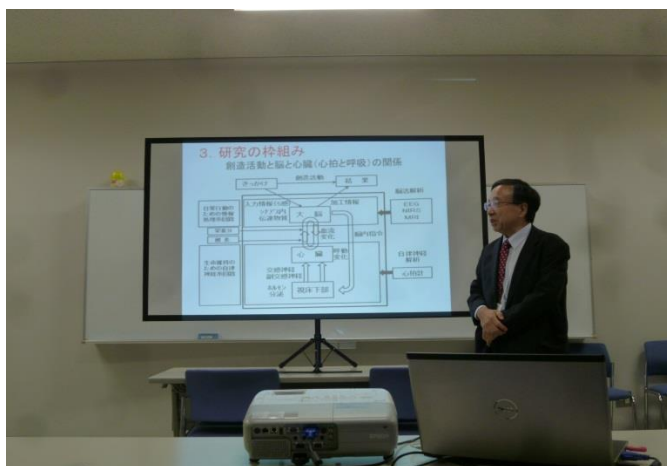


パネルディスカスの司会(明るい未来の日本を構築)

10月15日 第4回 価値創造型企業支援研究所 定例年次報告会(本学246ホール)



開会の辞



論文の発表

創造性テストの心拍計による自律神経計測評価

11月5日 第38回 日本創造学会 研究大会(沖縄県 名護市 名桜大学)



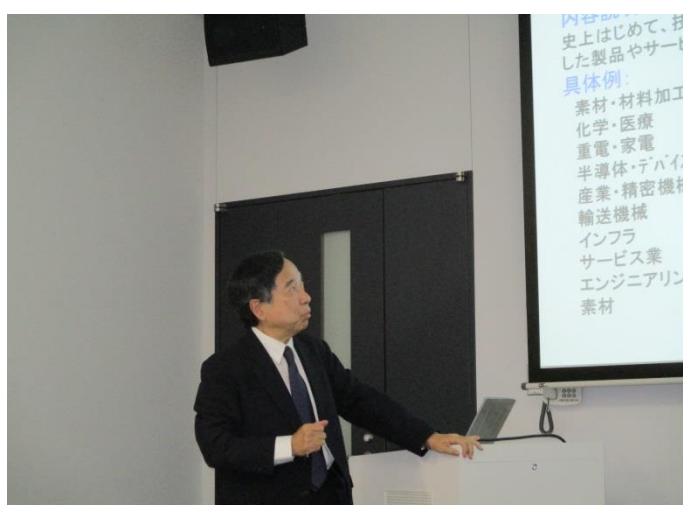
12月16日 平成28年度 SLIM Japan 講演会
スピーチ「オープンイノベーションとワークショップ活動」



1月28日 2016年度本学博士後期課程研究発表会総評
(本学246ホール)



3月11日 日本マネジメント学会コンサルティング部会
「促進剤としてのコンサルティング活動」報告
(東洋大学白山キャンパス)



3月13日 早稲田大学商学研究科システム創造思考
法研究部会「ファジー フロント エンド活動による
技術革新創成」(早大11号館4F第2会議室)



3月18日 競争情報視点下の全球企业管理研讨会
「创建新产品开发中模糊前端的创新」
中国 河海大学商学院 (南京市)



3月24日 2016年度CVSフォーラム総会
「アクティブラーニングへのVE適用研究」
(公益社団法人) 日本VE協会 大会議室

2015 年度学術活動



9月5日 システム創造思考法研究部会／日本企画計画学会 合同研究大会（早稲田大学（懇親会スピーチ））



9月20日 河海大学商学院 MBA学生 集中講義
「日本経営の過去と現在 -MOT 視点から-」（中国 南京市）



9月20日 河海大学商学院 校舎玄関入口



10月7日 第1回日中ハイテク事業開発交流会で講演
「資本主義経済下におけるものづくり企業のあるべき姿」



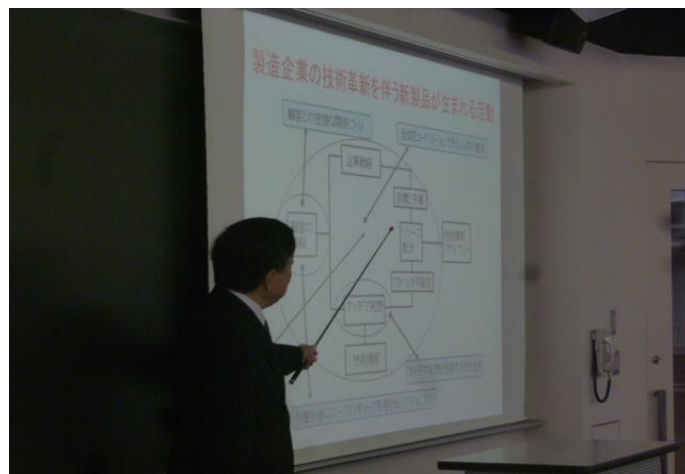
10月4日 日本創造学会開会挨拶 （大阪経済大学）



10月4日 日本創造学会で発表（大阪経済大学）
「創意工夫を伴うグループ討議における「教える」と「気づく」の関係性」



10月8日 SLIMJAPAN講演会 閉会挨拶



10月11日 研究・技術計画学会で発表(早稲田大学)
「大手製造企業の企業内技術者へのMOT取り込み教育の変遷と
今後のあるべき姿」



10月24日 日本マネジメント学会で発表(香川大学)
「産学連携のマネジメントとベンチャーの円滑な関係性構築」



10月28日 第48回VE全国大会モデレーター
(アルカディア市ヶ谷)
「目的志向と創造性発揮フォーラム」



10月29日 2015年渋谷価値創造塾フォーラム総司会
「人・職場・地域を元気にするコミュニケーション」





第1回女性起業チャレンジ賞授賞式

11月3日 (社)日本起業アイデア実現プロジェクト (銀座PPサロン)



閉会の挨拶

(銀座PPサロン)



11月7日 第3回価値創造型企業支援研究所報告会 挨拶&研究報告



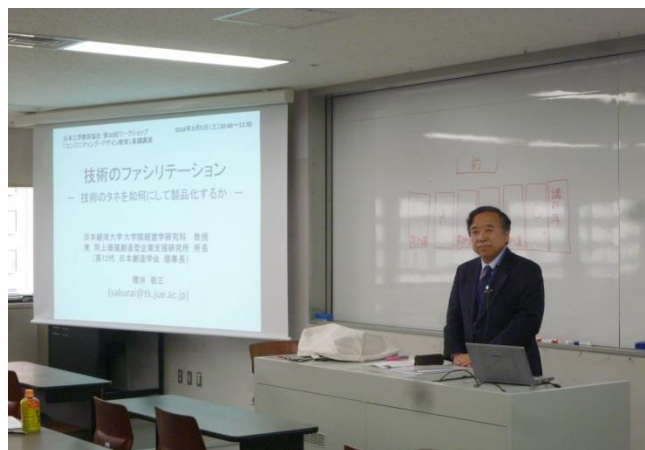
11月13日 KICSS 国際大会で感謝状をいただく
(タイ プーケットホテルにて)



11月28日 日本経営工学会で発表 (金沢工業大学)
「企業内MOT教育で学ばせるべきことは何か」



12月15日公益社団法人日本バリューエンジニアリング協会
東日本支部マネジメント部会
講演 「ユーザーイノベーションとは何か」

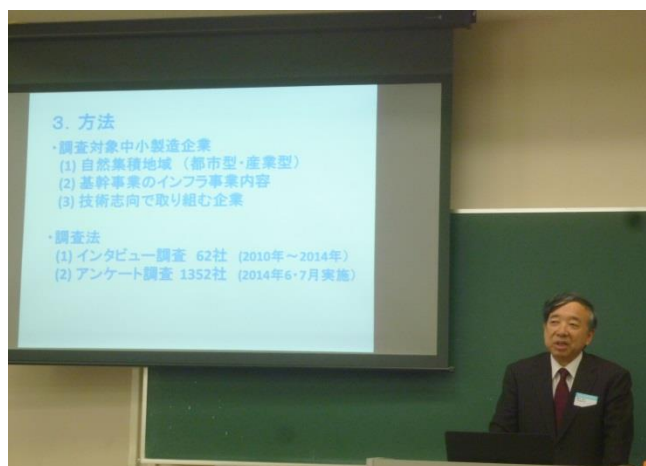


3月5日公益社団法人日本工学教育協会ワークショップ
『エンジニアリング・デザイン教育』
基調講演 「技術のファシリテーション」

2014 年度学術活動



8月19日 第13回日本モンゴル国際シンポジウム
(モンゴル・ダンハン市庁舎大講堂にて発表)



10月19日 研究・技術計画学会で発表



10月26日 日本創造学会で発表



10月30日 2014年VE全国大会マイルズ賞受賞
記念フォーラムにて講演



11月8日 日本経営工学会で発表



11月16日 日本マネジメント学会で発表



中小製造企業の実証研究の発表



パネルディスカッション アジテータ

11月22日 第2回 価値創造型企業支援研究所報告会



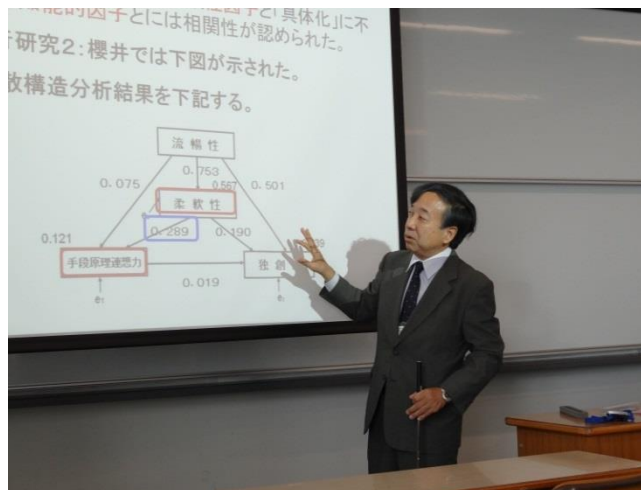
3月12日 ヤンゴン工科大学にて講演
(ミャンマー ヤンゴン市)



3月20日 第13回ミナモトジャパン 杯 東京交流会
にて講演

2013 年度学術活動

国内外にて学会発表 9 回・講演 6 回・共同研究など実施



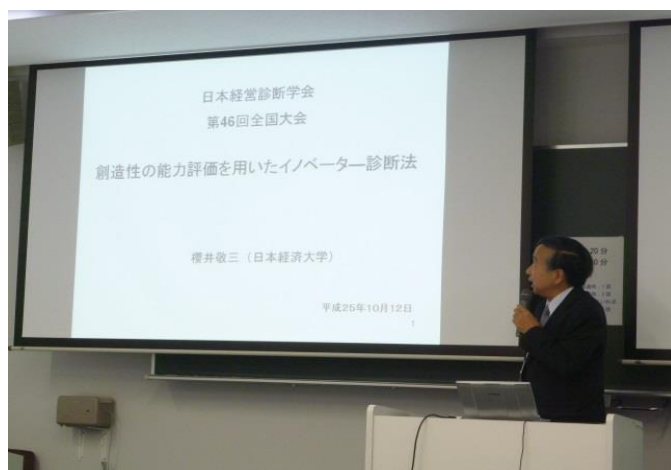
6 月 30 日 経営情報学会全国大会で発表



8 月 11 日 経営行動研究学会全国大会で発表



9 月 10 日 ICPM-2013 (ベトナム・東部国際大学) で発表



10 月 12 日 日本経営診断学会全国大会で発表



10 月 18 日 大学院公開セミナーで講演
「知らないと損をする知的創造活動の急所」



10 月 27 日 日本創造学会全国大会で発表



11月3日 研究・技術計画学会で発表



11月30日 価値創造型企業支援研究所報告会で発表



12月13日 VE協会東日本支部マネジメント部会で講演



12月14日 大学院M1生の発表会総評



12月16日 VE協会西日本支部VE研究会で講演



2014年1月20日 システム思考法研究会で講演



3月1日 中国(天津)南開大学で講演



3月8日 日本経営工学会日本型MOT研究部会で講演

2012 年度学術活動



9月1日 中国蘇州独墅湖高等教育区図書館で講演

会場玄関ホール



10月21日 日本創造学会第34回研究発表会で発表

10月28日 研究・技術計画学会第27回年次学術大会で発表



- ・学会発表4回（詳細は別資料参照）
- ・北陸先端科学技術大学院大学博士後期審査
- ・講演会国内外で2回実施
- ・共同研究 などを行いました。

2月9日 知的財産マネジメント研究会で講演（政策研究大学院大学にて）
演題：実証的研究に基づく技術革新を生み出す組織マネジメントと個人特性

2011 年度学術活動

(金沢にて)



7月21日 大連民族学院大学正門にて
日中学生交流の下打ち合わせ



9月14日 大連民族学院大学にて
本学学生と同大学学生の日中学生交流



8月15日 土佐桂浜
坂本龍馬像の前で
(大きな像でした)



9月20日～22日 富山大学集中講義
「生産管理論」講義



12月9日 北陸先端科学技術大学院大学国藤研究室
にて。大学院生ウランさんと勉強会（研究生同行）

- ・学会発表3回（詳細は別資料参照）
- ・北陸先端科学技術大学院大学博士後期審査
- ・石川県助成事業審査委員（詳細記載せず）
- ・共同研究などを行いました。

2010 年度学術活動

この年から大学教員(金沢星稜大学経済学部経営学科)となりました。



6月7日(月)

主催 (財) 石川県産業創出支援機構
出席 EMプロジェクト研究会(県内経営者)
演題 「モノづくり企業の今後の生きる道」
場所 四高文化交流記念館

8月16日(夏季休暇中)

本居宣長生家に上がり直筆の自画像前で
記念撮影(松坂城 城跡移築生家にて)



8月27日(金)

主催 日本企画計画学会(国際会議)
発表「ブレイクスルーを実現する技術開発新製品の情報
収集及びアイデア発想活動」
場所 中京大学

8月27日(金)

左記学会にて86歳になられる
G. ナドラー名誉教授(南カルフォルニア大学)
と談笑 (15年ぶりの再会)



9月30日（木） 大学正門前にて
楓が紅葉しはじめました。



11月30日（火）
主 催 北陸先端科学技術大学院大学
招待講演 「ファジー・フロントエンド段階の創造的マネジメント」
有益な意見交換がなされ感謝いたします。



3月18日（金）
主催（財）日本バリューエンジニアリング協会
後援 金沢商工会議所、（財）石川県産業創出支援機構
富山大学、金沢大学、金沢星稜大学
第9回 北陸地区 VEセミナー 基調講演
「VEで改善策の質向上を図ってみませんか」
（金沢商工会議所 3Fホールにて）



3月11日（金） 某社で改善指導中
（終了後 総務課長から東日本大震災発生を聞く）

- ・そのほか学会発表3回（詳細は別資料参照）
- ・北陸先端科学技術大学院大学博士後期審査
- ・中小企業応援センター専門員として企業指導
- ・石川県中小企業団体中央会専門家として指導
- ・石川県助成事業審査委員（詳細記載せず）

 などを行いました。